

1. 件名：敦賀発電所2号炉の新規制基準適合性審査に関する面談について

2. 日時：令和元年12月20日（金）17時20分～17時40分

3. 場所：原子力規制庁9階会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、田上上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官

日本原子力発電株式会社 開発計画室長 他5名

5. 要旨

(1) 日本原子力発電株式会社（以下「日本原電」という）から、本年12月13日に開催された第813回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合における、原子力規制委員会からの指摘事項について、提出資料に基づいて趣旨の確認があった。

(2) 原子力規制庁から、各指摘事項の内容に係る認識を相互で確認した後、会合において指摘したとおり、短周期地震動に係る評価については慎重に判断していくこととする旨を伝え、浅部からの短周期地震動の発生の不確かさを深部断層の評価において保守的な設定を行うことで補うことを事業者の評価方針とするのであれば、深部断層のパラメータにおいて、先行審査実績以上の不確かさを考慮する必要がある、そのためには、先行審査実績から更にどのような不確かさの項目とその範囲を検討することが適正と考えるのかについて整理することを日本原電に求めた。

(3) 日本原電から、上記内容について了解した旨の回答があった。

6. 提出資料

・敦賀発電所2号機 地震等に係る新規制基準適合性審査に関するコメントリスト